

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(28年度:計画作成主体:江差町地域農業再生協議会)(北海道)

取組の概要

- 対象品目 : 施設アスパラガス(産地面積18.4ha)
主な取組主体 : 新函館農業協同組合
成果目標 : 総販売額の10%以上の増加
基準(H27年度) 300,211千円
目標(H30年度) 333,656千円
導入施設等 : 生産支援事業(自動荷受選別機・自動テープ結束機)

北海道
江差町
厚沢部町
上ノ国町
乙部町
奥尻町
八雲町



推進体制

地域の関係者(江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、八雲町熊石、JA新函館、農業関係者等)が一体となり、道南農業試験場等と連携しながら、事業を推進。

地域における独自の取組

<主な取組>

- かん水管理や肥培管理などの低収量ハウスの原因究明及び改善策の普及推進による品質の向上
- 複数町において、施設アスパラガスの生産支援対策を実施し、ハード面、ソフト面を積極的に支援

ポイント

【産地の課題及び取組方向】

檜山南部でハウスアスパラガスを作付して14年が経過し、売上額3億円を超え、7~9月では北海道のアスパラ出荷量の半分以上を占める産地に成長した。一方で、受入原料が選別の処理能力を大幅に超える状況となっており、1日の稼働時間も12時間を越えて処理する事もあるが、翌日への持ち越しを余儀なくされる事も多くあり、鮮度、品質への影響も見られている。こうした出荷・調整機能の向上に取組むことで新鮮で高品質なアスパラガスを安定的に出荷し、販売額の増加を図る。

【産地の体質強化に向けた方策】

- ①共同選別体制の高度化を図るための自動荷受選別機、自動テープ結束機のリース導入
- ②施設アスパラガスの低収量ハウスの原因究明及び改善策の普及推進

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①共同選別体制の高度化や管理による品質低下の未然防止、市場ニーズへの対応による評価の向上
- ②販売額の増加により、生産者の所得向上につながり、施設アスパラガスの産地強化を実現

